

シグマ委員会核データ専門部会
評価用データベースWG 4年度第3回会合議事録

日時： 1993年 1月20日（水） 13:30～17:30

場所： 日本原子力研究所本部 第5会議室

出席者： 浅見（データ工）、五十嵐（NEDAC）、大澤（近大）、千葉、深堀、成田、
中川（原研）

配布資料

DBE-92-12 平成4年度第2回会合議事録（1992年9月25日）

DBE-92-13 I N D E S の改良 [中川]

DBE-92-14 「共分散データの評価と処理に関する専門家会議」 [千葉]

DBE-92-15 統計模型計算用パラメータファイル [五十嵐]

DBE-92-16 荷電粒子入射反応実験データベース CHESTOR の作成 [深堀]

議 事

1. 議事録確認

前回 1992 年 9 月 25 日の議事録を確認した。

2. I N D E S の改良

中川氏が、資料 DBE-92-12 により、前回会合以降の INDES の改良点について報告した。GET、LEVEL、CASTHY2 の3つの segment を改良し、SET、CINDA、ASREP、CASTHY、EVLCHK を新たに追加した。新たな segment の機能は次のとおり。

- SET INDES 情報ファイル等 INDES 使用環境の設定。
- CINDA CINDA の検索。
- ASREP 非分離共鳴パラメータ決定コード ASREP の JCL と入力データ作成。
- CASTHY CASTHY の JCL と入力データ作成。
- EVLCHK FIZCON、PSYCHE、CHECKR 等を用いた評価済データファイルのチェック。

今後、の作業について検討し、以下の意見が出された。

- ET に使用するパラメータを推奨する機能を入れる。
- CINDA と同様に、Photo reaction の文献索引の検索ができるようにする。
- レベル密度パラメータや光学模型パラメータの格納方法の改良が必要。
- EXPINF では荷電粒子実験データ格納検索システム CHESTOR の情報も表示するようにする。

3. 「共分散データの評価と処理に関する専門家会議」報告

千葉氏が、1992 年 10 月 7 日～ 9 日、ORNL で開かれた「NEANSC Specialists' Meeting

on Evaluation and Processing on Covariance Data」の様子を配布資料 DBE-92-14 で説明した。

4. 統計模型計算用パラメータファイルについて

五十嵐氏が荷電粒子核反応計算コードで使用する基本データとして作成した標記ファイルについて配布資料 DBE-92-15 で説明した。このファイルには、複合核から n、p、d、t、 ^3He 、 α の分離エネルギー、クーロンエネルギー、巨大共鳴パラメータ、11 本までの励起準位等が格納されている。このデータはいずれ EVLDF に入れる予定であるが、そのほかいろいろ用途が考えられそうである。

5. 荷電粒子実験データ格納検索システム CHESTOR について

深堀氏が、CHESTOR について説明した。これは中性子実験データ格納検索システム NESTOR をもとに作成したもので、現在は、p、d、t、 ^3He 、 α 入射反応のデータを 8070 件、17 万点を格納している。今後は、photonuclear reaction のデータも格納できるようにする事にした。

6. 今後の計画

今後の作業について検討した。

- 共分散については、作業の目標がはっきりしない。目標を作る意味で、ドシメトリー積分テストWGに協力し、JENDL Dosimetry File の一部の反応データの共分散評価をしてみることにした。
- EVLDF については、JENDL-3 評価用パラメータを完全に格納するのは無理であり、現状の格納データのチェックし早々に作業を終了したい。
- INDES については今までのペースで機能を追加していく。
- データベース等については他の利用者への PR が必要である。

6. その他

今回は、6月8日（火）に行う。